

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	幼児ことばの教室			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日～令和7年11月5日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	55	(回答者数)	21	
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日～令和7年11月5日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	9	(回答者数)	9	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就学に向けての準備に長けていること。	学校の授業に似た大グループでの集団活動と、学校で必要とされる立ち振る舞いのための個別支援を行っています。	通所先の幼稚園や、進学先の学校との連携を図ってまいります。
2	保護者が実際の支援をマジックミラー越しに見ることができる	保護者が疑問に思っていることを支援後すぐに話し合ったり、支援の目的を伝えています。	保護者の意見を聞き取りながら、支援内容に取り入れてまいります。
3	保護者の相談にすぐ対応できるように、担当以外にも職員を配置する時間を作っていること。	保護者から話しかけやすいように、普段から関係を作るよう心掛けています。	人員を常時配置できるように取り組んでまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員が少なく、利用の希望に対応できないことがある。	職員一人当たりが対応できる人数に限りがあるため。	必要な人員配置に努めてまいります。
2	入り口の段差等、バリアフリーに対応していないところがあること。	施設が古く、建物の構造上難しいため。	職員が子どもから目を離さないようにすることで、転倒等の事故防止に努めてまいります。
3	職員を対象とした外部講師等の研修がない。	職員の勤務体制が様々で、一斉に研修を受ける時間の確保が難しい。	定期的にケース検討会は実施していますが、職員の資質向上のために、外部講師の研修の機会も作れるように努めてまいります。